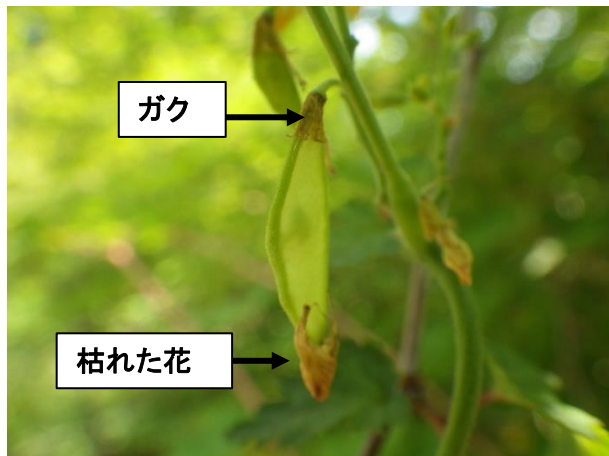


植物多様性センターの「トキリマメの花」

トキリマメは、林縁や登山道沿いなどで見られるつる性の多年草です。奥多摩ゾーンのコゴメウツギに絡ませた株が、この夏初めて花が咲きました。種子から育てて2年目です。黄色の小さな可愛い花と若い緑色の豆が観察できます。蕾はたくさんありますので、秋までたくさんの莢をつけることができると思います。2色効果の可愛い実を楽しみにしててください。



花序：黄色と白の蝶形花を10数輪つけて、下から咲きあがる



ふくらみ始めた若い豆果：中に1個の種子が透けて見える



葉：マメ科に多い3小葉からなる複葉で、先がとがる



豆果：秋には赤く莢が色づき、中から黒い種子がのぞく